



Exhibition MARCESTEL



# マークエステル展

日本神話に魅せられて

2020

5 / 20 (水) ~ 24 (日) 11:00 ~ 18:00

会場 / 国際デザインセンター デザインギャラリー →

名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパーク・デザインセンタービル 4階







表掲載作品の全体図 手彩入ジクレー版画による4曲屏風 140×320

## 日本神話に魅せられて

1970年の大阪万博を訪れた際、京都の清水寺で水墨画の美しさに心酔したマークエステル。彼は、人知を超えて生まれる神秘的な滲みの中に、自然や他者を受け入れ共生する日本人の哲学と精神性を感じたと言います。以来、外交官としての道を捨て画家へと転身し、油彩で滲みを作るという独自の画法を確立し、現在、世界的に高い評価を得ています。彼の創作の源は、日本に対する深い愛情、そして、神に対する真摯な崇敬の念でありましょう。彼が絵を描く時、そこには作為も計算もなく、ただ幼子のように天に身を委ね自由に色と戯れるのです。その純粹さが見る者の心を解放し、惹きつけて止みません。今年77歳を迎えるマークエステルですが、創作のイマジネーションは尽きることなく、益々精力的に制作に励み、ライフワークである神社への作品奉納は、全国185社を数えます。今企画では、油彩画、ブロンズ、ガラス工芸、版画等、新旧代表作約80点を一堂に展示いたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

株式会社H&T 代表 濱崎 佐知子



因幡の白兔に大国主命が助言する 手彩入ジクレー版画 38×46.2

**作家来場** 来場日についてはH&Tまでお問合せください

# MARCESTEL

マークエステル・スキャルシャフィキ



私の心の中の太陽 手彩入ジクレー版画 38×45.7



愛を広げる花束 手彩入ジクレー版画 38×50.8

- 1943 パリ生まれ。家族で南仏エズに移住。フランスホテル協会会長の父が経営するカップエステルホテルで少年期を過ごす。パリ大学にて経済学学士号、国立東洋語学校で露語と中国語の学士号を取得。パリ・ボザール美術学校で建築学、パリ・カモンド美術館で装飾美術を学ぶ。
  - 1968 ラオス・フランス大使館勤務。翌年、モーリス・シューマン外務大臣の秘書となる。近くに住んでいたマルク・シャガールや、グレタ・ガルボ、チャーリー・チャップリン、ビートルズ、ケネディー家、ボンビドゥー家、デヴィッド・ロックフェラー、モナコのグレース王妃等と交流を深める。
  - 1970 大阪万博に訪れ、京都清水寺で水墨画の滲みの美しさに感動し、画家へと転身。
  - 1974 ガラス工芸品、陶器、漆、ブロンズ、シルク生地によるセリグラフ等の制作を開始し、ピエール・カルダン、ピエール・バルマン等が生地をオートクチュールで使用。ヴォーグ誌で特集される。
  - 1987 ホームレスの子供達の為の学校「アベル」を創設。その後、マークエステル教育財団を設立し4つの学校を運営。(トーゴ2か所、ブルキナファソ、モザンビーク)
  - 1989 盛田会長の厚意で銀座ソニービルにて個展。東急文化村オーピング記念企画で個展開催。
  - 2006 「日本神話 by MARCESTEL」を七ヶ国語版で出版。翌年神道文化会より文化奨励賞を授与される。
  - 2011 作品を舞台芸術化したコンサートを高松で開催。翌年、松山で開催。
  - 2013 出雲大社「平成の大遷宮」奉祝奉納公演に作品映像提供。
  - 2014 下村文部科学大臣より「文化関係者文部科学大臣表彰」を受章。
  - 2017 作品を舞台芸術化した舞台「日本神話 by マークエステル」を開催。(明治神宮会館他)
  - 2019 横浜市大倉山記念館、神戸北野美術館、FLORE Artist Gallery (神戸)、妙香園画廊 (名古屋)、難波神社 (大阪) にて個展。「天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典」にて作品が放映される。
  - 2020 小國神社 (静岡県)、小丸屋ギャラリー (京都) にて個展。
- 現在、全国185社の神社へ作品奉納。 URL <http://www.marcestel.jp>



流れる愛の沢 43×16×32.5

春の宝物 14.8×8.5×46.1



愛の歌を奏でる 30×40×30